## Vol.07　マイナー系 3 種のスケールを弾いてみる　～その 1～

では、vol.07、やっていきましょう。

今回は、マイナーキーの楽曲の元となる、マイナー系のスケールを弾いて行きます。

マイナー系の(基本)スケールには 3 種類あり、それぞれ、

・ナチュラルマイナー
・ハーモニックマイナー
・メロディックマイナー

と名前が付いています。

マイナーキーを本格的に学ぼうとすると、この 3 種を使って行く事になるのですが、だからと言って、いきなり指板全体でこれらのスケールを練習していくのは、あまり現実的ではありません。(※主に量の観点から)

実際の所、一般的なマイナーキーの楽曲(主にロック、ポップス等)での各スケールの使用率は、

・ナチュラルマイナー　　→　85～95%
・ハーモニックマイナー　→　5～10%
・メロディックマイナー　→　0～5%

みたいな感じです。

統計が取れるわけでは無いので数字はイメージですが、ほぼナチュラルマイナーで、一部ハーモニックマイナーな場合がほとんどですね。

メロディックマイナーは、ジャズ系の要素が大きいジャンルや楽曲だと、もっと割合が増える印象です。

後は、元々がクラシック系の方法論なので、その方面の楽曲だと、上記 3 種のスケールがちょこちょこ入れ替わっていたりもします。

これらのスケールは、別で配布している【教科書】では後半の内容ですが、構造としては、代表的なスケールから見ても 1～2 音変化しているだけです。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

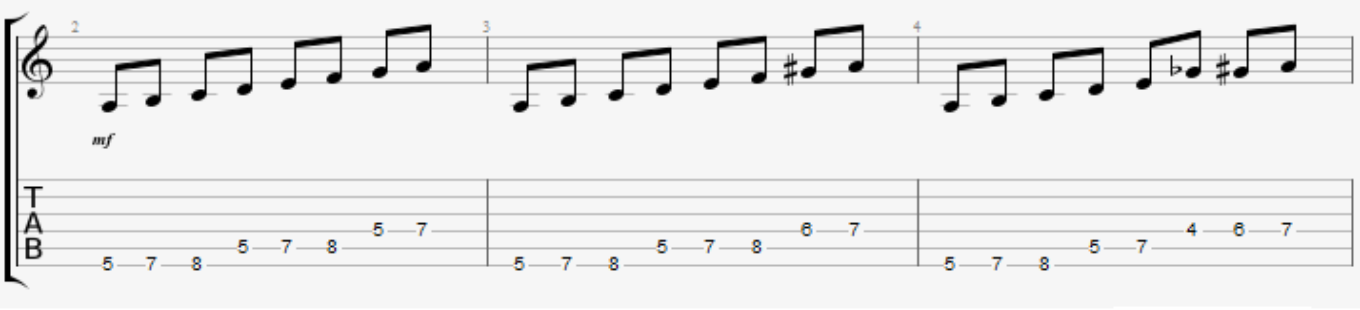
なので、この辺りで、予習的な部分も含めて、基本の形くらいはやってしまいましょう。

それでは、前置きが長くなりましたが、今回の譜例は以下になります。

トニックはA音で、ナチュラル→ハーモニック→メロディックの順番で並んでいます。

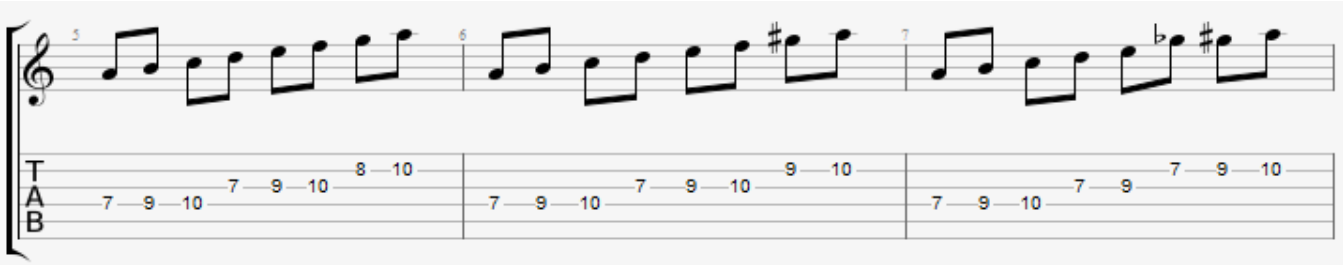
この譜例も、各小節を繋げて弾く必要はありません。

**譜例、6&5弦トニック(※5弦トニックも同じ形になります)**



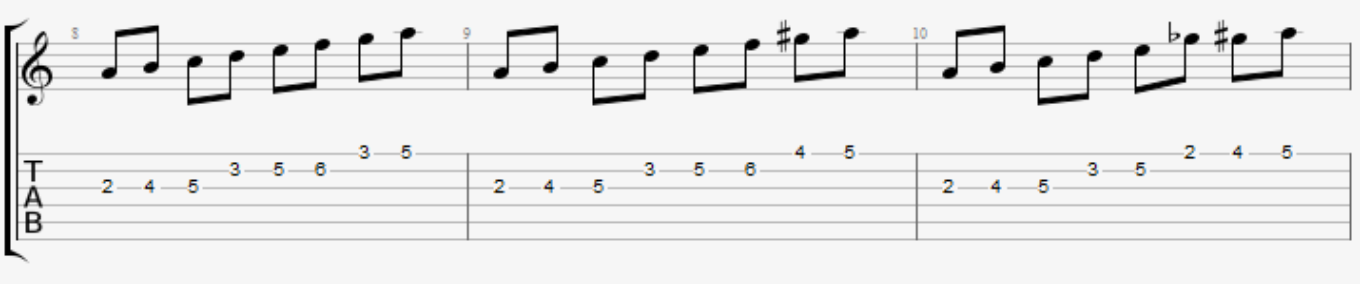

薬　人　薬　小
(小)

**譜例、4弦トニック**




薬　小
(中　薬)

**譜例、3弦トニック**




実際に弾くと分かる様に、この順番で見ると、ナチュラルマイナーから1音ずつ構成音が変化して行っていますね。

メロディックマイナーは、指板上での音の配置にちょっと癖がありますが、実態としては、メジャースケールの3度を半音下げただけでもあります。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

この辺りのマイナーキーの話は、やろうと思えばそれなりの量になるのですが、まずはさわりの部分だけを、この【10分トレ】でやってしまいましょう。

次回、別のポジション(ブロック)と、インターバル的な観点など、もう少し深く見ていきたいと思います。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved 